



4月

# はと・ほし・つきぐみだより

ご入園、ご進級おめでとうございます。新年度が始まり、今年度の以上児クラスは76名という過去最多でのスタートとなりました。進級した喜びを感じ、毎日笑顔で元気いっぱい姿が見られます。以上児クラスは主に異年齢保育をしています。異年齢の子どもたちと関わり合うことで、社会性や協調性、思いやりの気持ちなどが育まれ、色んな人と関わることで、色んな人がいるということを知っていきます。自分の周りのお友だちのことを知り、受け入れることで「人と関わる力」が育っていきます。

毎日の活動を通して、子どもたちがさまざまなことを学び、身につけていけるよう、サポートしていきたいと思ひます。分からないこと、心配なこと、不安なことなどありましたら、なんでもお尋ねください。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



トントンしたら  
ねるの？



ぼくがおしえて  
あげようか！



同年齢の関わりも  
もちろんありますよ！



ねてくれるかな～



つきさんのして  
いることって  
すごい！



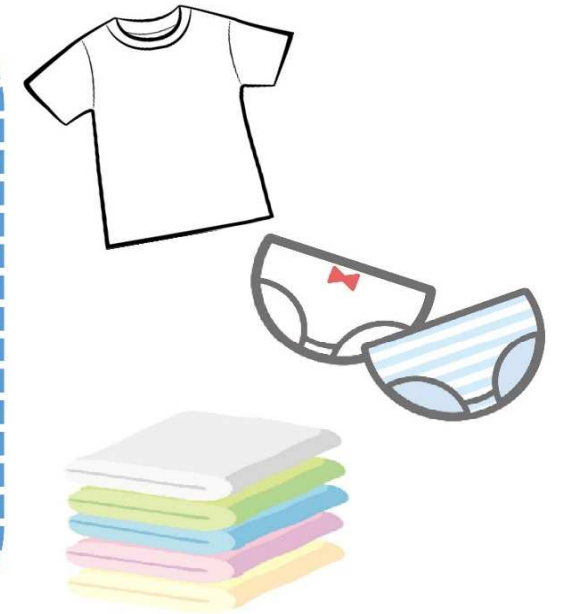
## お知らせ・お願い

- すべての持ち物に名前の記入をお願いします。使用しているうちに消えてしまうものもありますので、再度確認してください。(歯ブラシ、コップ、靴下なども)
- 子どもたちは毎日園庭で水遊び、泥遊びをしています。着替えがなくて困らないよう、毎日ロッカーの中を確認し、足りないものは補充してください。
- ほし組、つき組は午後から活動するときもあります。(野菜の苗植え、収穫、nicedayのおけいこなど)
- ほし組、つき組の体操教室は午後からしています。
- ほし組、つき組の英会話は、参加の有無を子ども自身が決める選択制の活動となります。
- ほし組はゴールデンウィークまでお昼寝をする予定にしています。その後はご家庭と相談しながらお昼寝をするかしないか決めていきたいと思っています。
- 毎週末には園庭用の靴、帽子、お昼寝用の布団、おたよりを必ず持って帰ってください。その際には、靴のサイズ確認をしてください。

4月になり、気温の高い日が続いています。自分で衣服の調節をして、半袖で遊んでいる子どもたちもチラホラ。小川での水遊び・泥遊びがだんだん盛んになってきました。子どもたちが、服が汚れても気にならないよう、今年も水遊び・泥遊び用の肌着とパンツの準備をお願いします。ホームページに肌着姿で遊んでいる子どもたちの姿を載せることもありますので、名前は**背中側、おしり側**に大きく記入していただくをお願いします。

肌着とパンツは園で洗濯し、使用しなくなったらこちらで処分します。

タオルはフェイスタオルに名前を記入して毎日一枚持ってきてください。使用したら、ビニール袋に入れて持ち帰りますので、ご家庭で洗濯して翌日持ってきてください。



## 先日のお集まりから・・・

夕方、グループごとのお集まりで毎日絵本を読んでいます。絵本を選ぶ順番が決まっています。毎日お友だちが選んだ絵本を2～3冊見えています。その日たんぼぼグループは「こうちゅう」という虫の絵本？図鑑？をみんなで見ました。「羽の部分に触って固いのがこうちゅうっていうんだよ」「こうちゅうの中にはかぶとむしやくわがた、てんとうむしもいるんだね～」とみんな興味津々で話を聞いていました。

その3日後、ほし組の男の子たちが数人集まっていたので「何してるの？」とどくと、「虫をみつけた」とバケツに水を入れてその虫を浮かべていました。

「わーほんと！なんの虫かな…」と言うと、一人の男の子が「こうちゅう！！」と言いました。その子はたんぼぼグループで一番前に座ってあの絵本を見ていた男の子。「あっ！ほんとだね！すごいね、よく覚えてたね！この前こうちゅうの絵本見たもんね！」と話すと、うれしそうな表情です。

「その絵本どこにあるかな？」と言うと、走って絵本コーナーに行きました。



一緒に絵本を探して見つけるとすぐに開いて、同じ虫が載ってないかな～と探していました。こがねむしかな…思いながらも、その子が「あっこれかも」と指さすのは全部かぶとむしの横にいるメス(だったらいいなが伝わってきました)。一通り見たあとその絵本を持ってテラスに行くと、別の子がじょうろにてんとうむしを入れていました。「ここにてんとうむし載っちゃったよ」と

その子が絵本を開くと、「どれなん？」と探しています。「黒い丸が何個ある？」と伝えましたが、全部数えるのはちょっと難しかったようです。それでも絵本と照らし合わせて観察している姿を見て、いつもの何気ない遊びから学びにつながっているなと思ひ



ました。そして、あのこうちゅう。結局何の虫だったかははっきり分かりませんでした。別の女の子が「逃がしていいって言った」と言って、草陰に逃がしてあげていました。逃がしてあげると女の子の気持ちもうれしかったです。

先日のお集まりでの姿からいろいろなことに発展し、そこからたくさんの学びにつながりました。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の【協同性、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、量・図形、文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い】に当てはまる出来事でした。

